

プログラム (予定)

野村誠作曲
アコーディオンとピアノのための

「ウマとの音楽」 (2005)

野村誠作曲
ヴァイオリンと

ポータブル打楽器のための協奏曲

「ポーコン」 (2011)

野村誠作曲
だいやれ音楽 第1番

合唱のための

「ケロリン唱」 (2012)

野村誠作曲
だいやれ音楽 第2番

ビッグバンドのための

「ドミノだおし」 (2012)

野村誠作曲
だいやれ音楽 第3番

リコーザンサンブルのための

「笛るマーダ」 (2012)

野村誠作曲
だいやれ音楽 第4番

アコーディオン独奏のための

「お酢と納豆」 (2013)

野村誠作曲
だいやれ音楽 第5番

ヴァイオリンと映像のための

「だいやれは言いません」 (2013)

野村誠+田中悠美子作曲
だいやれ音楽 第6番

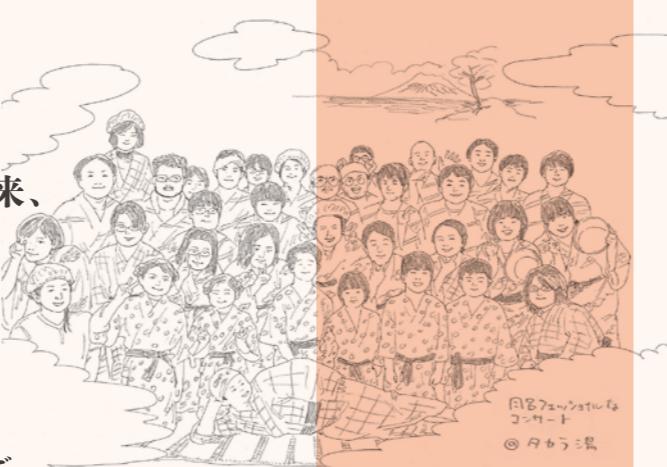
三味線と声と鍵盤のための

「千寿万歳」 (2013)

野村誠+田中悠美子作曲
だいやれ音楽 第7番

ヴァイオリンと即興演奏による

漫画ミュージカル



これは、足立区制80周年を記念した音楽の祝祭です。
1年半前に、このコンサートの芸術監督に任命されて以来、
本当に面白い伝説のイベントにしたいと、
ずっと考えてきました。

祝祭ですから、誰もが楽しめてるといいし、
しかし、他にはないユニークな企画で、

藝大でやるからには、圧倒的に質の高い斬新な演奏会で、

まちの人々が参加でき、千住の魅力を伝えられるとなお良い、わけです。

こうした要望に最大限こたえようと、大真面目に考えました。

1年半の間に16回も千住を訪ね、1ヶ月半以上も滞在し、

銭湯でのコンサート、まち歩き、子どもや大人とのワークショップ、音楽団体との交流、
藝大生とのセッション、まちなかで突撃インタビュー、だいやれ合戦など、
可能な限りの実験を試み、議論に議論を重ね、やっとたどりついたのが、このプログラムです。

マンガと音楽の共演、映像と音楽の共演など、さまざまな仕掛けもあります。

飛び切り腕の立つ演奏家の方々が勢揃いでです。

室内楽も、合唱も、語りものも、ビッグバンドも、だいやれもあります。

2013年の今、旬の音楽を、さまざまな珍味を、

一番美味しい形で味わってもらえるコンサートです。

どうぞお楽しみに。(野村誠)



[だいやれ音楽監修、ピアノ]

野村誠 Makoto Nomura

作曲家／ピアニスト

邦楽ユニット「糸」(田中悠美子が参加)の委嘱で「つん、こいつめ」(1998)を作曲。

2001年作曲の「F&I」(大田智美と御喜美江により世界初演)は、ヨーロッパ各地で頻繁に上演されている。

住民参加音楽劇「ホエールトーン・オペラ」(2004-06)を監修(梅津和時ほか出演)し、日英で上演。

松原勝也ほかにより世界初演された弦楽四重奏「アートサーカス」(2005)は、子どもとのワークショップを経て作曲。

子ども向け音楽番組「あいのて」(NHK教育テレビ:2006-07)全21本の番組を監修。

(うち3本が、三浦正宏ディレクター作品)

宮田篤と「らくがき」ワークショップを展開(2010-)。作曲プロジェクト「原発やめます」(2011-) 展開中。

京都造形芸術大学客員教授(2012-)。

アートアクセスあだち「音まち千住の縁」(通称「音まち」)とは <http://aaa-senju.com>

アートを通じた新たなコミュニケーション(縁)を生み出すことをめざす市民参加型のアートプロジェクトです。足立区千住地域を中心に、市民とアーティストが協働して、「音」をテーマにしたまちなかライブ、ワークショップ、トークイベントなどを展開します。

東京アートポイント計画とは <http://www.bh-project.jp/artpoint>

東京の様々な人・まち・活動をアートで結ぶことで、東京の多様な魅力を地域・市民の参画により創造・発信することを目指し、「東京文化発信プロジェクト」の一環として東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が展開している事業です。

2011年10月
音まち「キックオフ・フォーラム」

2011年11月
「だいやれソングワークショップ」
「集まれ!風呂フェッショナル」作詞作曲

2012年1月
「お風呂の音楽体験会」

2012年3月
「お風呂フェッショナルなコンサート」

2012年4月
「だいやれ音楽ワークショップ」

2012年5月
「千住だいやれウォーキング」

2012年10月
「あだちグルットウォーキング」内
「ワークショップ」

2012年11月
「だいやれ音楽体験ワークショップ」

2012年11月
「子どもだいやれ音楽ワークショップ」

2013年1月
「野村誠ピアソロ・コンサート」
「Lettuce play the piano」
「勝ち抜きだいやれ合戦つき」



野村誠作曲 だいやれ音楽 第3番	リコーザンサンブルのための	「笛るマーダ」 (2012)
野村誠作曲 だいやれ音楽 第2番	ビッグバンドのための	「ドミノだおし」 (2012)
野村誠作曲 だいやれ音楽 第1番	合唱のための	「ポーコン」 (2011)
野村誠作曲 だいやれ音楽 第1番	ポータブル打楽器のための協奏曲	「ヴァイオリンとピアノのための
野村誠作曲 だいやれ音楽 第1番	アコーディオンとピアノのための	「ウマとの音楽」 (2005)



[サックス、クラリネット] 梅津和時 Kazutoki Umezawa

日本におけるフリージャズ界の先駆者として、1970年代から現在に至るまで第一線で活躍を続ける。即興におけるアプローチの多彩さと柔軟さは唯一無二のものであり、これまでにも国境を超えた様々なアーティストとの共演多数。自身ではKIKI BAND、こまっちゃクレスマ、新大久保ジェントルメンの3つのバンドを率いる。最近では木村充揮や石橋凌、カーネーションの作品にも録音やアレンジ、プロデュース等で参加している。<http://www.k3.dion.ne.jp/~u-shi/>



[アコーディオン] 大田智美 Tomomi Ota

10歳よりアコーディオンを始め、国立音楽大学附属音楽高校ピアノ科卒業後渡独。アコーディオン教育学科、芸術家コースを経てフォルクヴァンク大学ソリストコースを首席で卒業、御喜美江氏に師事。在学中に野村誠とその音楽に出会いプロジェクトや新作初演に参加、卒業試験で世界初演されたアコーディオン協奏曲は聴衆の絶賛を浴びる。2009年から日本に活動拠点を移し各地で公演、日本でのアコーディオンの普及に尽力している。



[三味線、語りなど] 田中悠美子 Yumiko Tanaka

東京藝術大学音楽研究科修士過程修了。音楽学専攻。文楽の4世野澤錦糸に義太夫三味線を、女流義太夫の竹本駒之助に義太夫節を師事。1990年度芸術選奨文部大臣新人賞受賞。国内外における現代音楽作品の演奏、即興演奏、映画や音楽劇の作曲・演奏、ダンスパフォーマンス、演芸など実験的で多彩な表現活動を行っている。ソロCD「tayautauta」、ミュージック・パフォーマンス「tayautauta」、編著本「まるごと三味線の本」。



[テノール] 中原雅彦 Masahiko Nakahara

東京藝術大学卒業。同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第三期修了。大学卒業時に松田トシ賞を受賞。文化庁芸術家在外研修員にてイタリア・ミラノに留学。「メサイア」テノールソロに始まり、イタリア・トスカーナ州サンタ・フィオーラ国際音楽祭、新国立劇場本公演、東京二期会公演等のオペラに出演。その他、宗教曲、コンサートに多数出演。川上洋司、三林輝夫、S.ベルトッキ、P.ベルリーノ各氏に師事。東京藝術大学附属高校非常勤講師。二期会会員。



[ヴァイオリン] 松原勝也 Katsuya Matsubara

東京藝術大学在学中に安室賞受賞。クラシスラー国際コンクール等で上位入賞。新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターを歴任。ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏、ジャズミュージシャンとのコラボレーションなど極めて幅広い活動を展開している。2007年にはロンドン・ヴィッグモアホールでリサイタルを開催、絶賛を浴びた。第17回中島健蔵音楽賞、第55回文化庁芸術新人賞受賞。東京藝術大学教授。



[映像など] 三浦正宏 Masahiro Miura

子ども番組から報道番組、はたまた料理イベントなどジャンルを問わず数多くの演出を手がけ、うまい、安い、誠実の仕事ぶりで定評がある。企画制作集団 楽FACTORY 有限会社代表。今回は野村さんの友人として参加。千住在住25年。



[デスクジョッキー] 宮田篤 Atsushi Miyata

美術家。1984年愛知県生まれ、好きな食べ物はうめぼし。概して思いつきを思いつきでばやほやのまま尊重する態度がみられ、作品名などには駄洒落も多いが、本人はいたってまじめ。

ひちが ブッブー
ひちぶん ぶんぶん



design: 胡舟ヒミ

photo: 大塚歩 Josh Rickard 高島圭史 森孝介 illustration: 宮田篤 design: 胡舟ヒミ